

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394700039
事業所名	グループホームいわくらの泉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域の行事に参加したり、日々の買物や喫茶店に出かけたりして交流を継続している。今年から事業所で納涼祭を開催し、地域の参加も得ている。週1回地域のゴミ拾いを利用者と一緒に行ったり、校区の廃品回収にも協力をしている。また、生きいき生活サポートを利用するなど地域とのつながりを深めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	家族や区長、民生委員、包括せんセンター職員の参加を得て実施し、意見や要望は運営に反映している。会議録は家族に配布している。今年度、多くの家族の参加が得られることを目的としてアンケートを行い、参加者が増えた。会議録の様式改善や書記、司会者を取り入れた運営方法の改善を行うなど、会議の充実を図っている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議への出席、代行申請や事業所の報告業務等で市の担当課を訪れたり、メールや電話等で連絡を取り、協力関係を継続している。週に1回介護相談員の訪問がある。小・中・高等学校で認知症知識を広める活動に参加するために、市で開催された認知症養成講座を受講している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	入居者からは日々の暮らしの中で、家族からは運営推進会議や面会時、家族交流会等様々な機会を捉えて意見や要望を聞くようにしている。また、運営推進会議録を配布したり家族アンケートで意見を聞く機会を設けている。意見や要望はミーティング等で話し合い運営に反映させている。写真入りの状況報告を登載したホーム便り「絆」は、家族に安心を届けている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	-	-	○	○	○	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。